

● 6月24日(土) 曇 恵庭・千歳で停滞・千歳で泊

・5時半に目が覚めた。外は曇っていて気温17℃で寒い。今日は停滞だ。  
テレビをつけると「市川海老蔵妻小林真央さん死亡」のニュースが飛び込んだ。一昨日亡くなったという。あんなに頑張っていたのに可哀そうに、残念な！ 34歳の若さ、美しく、賢く、強く、素晴らしい女性だった。惜しい、残念。合掌。

・周りを見ると日本中から集まった車が数十台停泊している。すごいな。  
・今日は何の日かな？ 裏の広場にテントが一杯張ってあって、早朝から車がどんどん入ってくる。

9時過ぎにはこの広い駐車場が満杯になった。広場では何やらお祭りが始まったようだ。お祭りは「えにわマルシェ」と云うらしい。広場の周りでは食べ物の店や、雑貨物の店のテントが並び、奥のステージでは歌や踊りのもようし物が始まった。駐車場が満杯で、駐車できない車が右往左往している。

・バケツで水を運んで車の陰で洗濯を済ませ、「えにわマルシェ」のお祭り会場を一回り。レストランで昼飯でも食おうかと思ったが、お祭り騒ぎで超満員、とても入れたものじゃない。

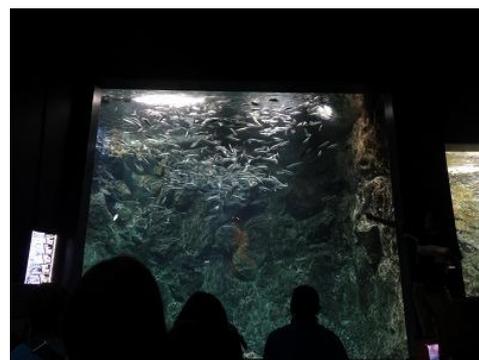
買い置きのパンと牛乳で昼食を済ませて、お隣の道の駅「サーモンパーク千歳」へ移動。



・数年前にリニューアルをはじめたため、しばらくぶりでリニューアル後初めて来たが、駐車場は広くお店はまとまって使い勝手が良くなった。反面、以前のような木陰が無くなり、トイレも無くなり昔の情緒が消失した。「さけのふるさと水族館」もリニューアルしたので入ってみた。値段は変わらず800円。展示がすっかり様変わりしていて、サケ、イトウなどに特化することなく、広く淡水魚の水族館としたのは良かったが、以前あったサケの稚魚から成魚への過程を追った展示が無くなっ



たのは寂しい。3時から餌やりの場面を見ることが出来、餌を入れると、ワッと集まってくる魚たちが面白かった。



・フードコート状の食事処が4時~5時までしか営業しない。飲みながら「ミニイクラ丼」を食いたかったが、テイクアウト出来ないというのであきらめた。明日は雨模様との予報だが、なぜか空には青空が見えていて暑い。ビールを飲みながら6時過ぎには夕食を済ませ、隣に止まった富山ナンバーの車のおじさんといろいろお話した。道の駅で隣人と会話するのは久しぶりだな。7時過ぎには就寝。

・なんだこの駅は！ 夜になるとどんどん車が集まってきて、駐車場はほぼ満車になった。みんなここに泊まる気なのか。リニューアルにはあった駐車場近くのトイレは無くなり、24時間トイレもすっかり小さくなり小用が3個、大用が2個しかない。宿泊車が多いのでわざと小さくしたという。明朝はトイレの争奪戦だな。

・夜中には天気予報通りかなりの雨が降っていた。

003

## ● 6月25日(日) 曇ときどき雨 気温16℃(寒い) 千歳から三石へ

・朝4時に目覚めうとうとし6時に起床した。幸い雨は上がって今は降っていないが、どんよりと曇っていて風も強くて寒い。現在気温は16℃。寒いので車内で朝食を済ませた。

・隣の富山ナンバーの車を見せてもらった。普通車のトヨタライトエースだと思っていたらなんと、キャンピングカー仕様だ。なかなか良くできていて、冷蔵庫も電子レンジも、もちろんテレビも完備している。これなら長時間の旅行も問題無い。既製品であるらしく、すぐそばにも同じ車が止まっていた。

・中部地方。長野地方で地震があり震度5だとNHKのニュース、地震のニュースばかりやっている。天気予報をいろいろ調べたら、明日からしばらく晴天が続くようなので、明日入山の準備をいろいろ整え、明後日幌尻山荘へ入ることにした。いよいよ幌尻岳へ登るぞ。今夜は道の駅「みついし」に泊まり、ゆっくり風呂に入り、レストランで牛肉を食って鋭気を蓄えることにしよう。

・8時過ぎに富山のおじさんに別れを告げ霧模様の千歳をあとにした。9時前にウトナイ湖に到着。いつも大賑わいで駐車場が満杯の道の駅「ウトナイ湖」も朝早く開店前なのでガラガラ。隅の木陰に車を止めた。



今日は三石へ行くだけで何も予定

察路を歩いてみた。数年前に歩いた時は木道が朽ち果てて危ない所もあったが、すっかり補修され立派な観察路が出来ていた。自然センターからネイチャーセンターまで2km余、木道を歩いたり土の道を歩いたり、湖畔の道では白鳥がイタリで変化があって面白いが、花はノリウツギが咲いているくらいでほとんど見られなかった。歩いている人も誰もいない。ネイチャーセンターでしばらく休んでから来た道を引き返した。道の駅に着いたら12時を過ぎており腹が減ったので食堂で味噌タンメンを食った。以前食った「カニタマ丼」は今年も売っ

が無いので、のんびり自然観



ていたが、塩辛だけで全く旨くなかった記憶が強いので敬遠した。

・13時 雨がばらつきだしたウトナイ湖を後にして三石へ向かった。無料で通らしてくれる高速道路「日高自動車道」を快調に飛ばし終点の日高紋別ICで下りてから海岸に出て、海岸線の美しい国道235号線（浦河国道）を、右手に海を見ながら南下して3時半に三石へ着いた。この辺りは天気も良く薄日も差している。道の駅「みついし」に隣り合って昆布温泉「蔵三」があり、



デカイ駅だ。ただWiFiが圏外でメールが使えない。

・明後日からの幌尻岳アタックに向けて、今日はゆっくり温泉に浸かって、肉を食って栄養をつけよう。

17時前、蔵三へ行って昆布温泉にのんびり入り、レストランで焼肉丼を食す。生ビール2杯も空けた。いよいよ幌尻岳だ！ 良い気分で19時に就寝。



## ● 6月26日（月） 晴 三石から新冠へ（幌尻岳入山準備）

・昨夜はかなり雨が降っていた。朝5時起床。雨はあかっているが雲が厚い。空を見上げると南の方は雲が多くて天気が悪そうだが、北の方を見ると青空も見られ天気は良さそうだ。

・朝食後明日から始まる幌尻岳の準備に取り掛かった。幌尻山荘までの入山に1日、幌尻岳に登るのに1日、新冠まで下山に1日それに予備日を入れて4日間の荷物と云うことになる。宿泊用品、食事用品など4日分となるとかなりの量だ。これに4日分の食料が加わる。準備してきた45+5リットルのバックパックには収まりそうにない。どうしようか。数人のグループなら荷物を分担できるが全て一人で背負わなければならない。思案の末バックパックの上にアタックザックを重ねて運ぶことにした。かなりでかくて思い荷物になるな。10時を過ぎて気温も大分上がって来て現在20℃だ。そろそろ出かけるか。



・今日はすぐ北の新冠で宿泊し、明朝早く入山する予定だ。国道235号線（浦河国道）を左手に海を見ながらのんびりと北上する。北へ向かうに従って天気が良くなり、静内・新冠へと来たらここは快晴だ。今回の幌尻岳登山に関していろいろと情報提供でお世話になった「ふかふか亭」に寄ってみた。幌尻岳へ向かう同道209号線（サラブレッド道路）を新冠から入ってしばらく走った所にあった。周りをサラブレッド牧場に囲まれたなかなか良い環境にある。11時過ぎに着いたがお留守で誰もいない。昼に近いので庭をお借



りして昼食の用意をいっていると、奥様がデカイ車でお帰り。ご主人は別行動で夕方に帰ってくるという。挨拶後、今まで情報をいただいたお礼を言って「明日から入山します。」無事帰ってきたら「ふかふか亭」で泊まりたいと3日後の宿泊予約をとった。まだシーズン初めなので空いているらしい。

・道の駅「サラブレッドロード新冠」に車を止めいよいよ明日からの最終準備だ。観光協会が発行してくれる「幌尻岳登頂証明書」をもらう手続きをしようと思ったら、月曜日は観光協会の定休日で閉まっている。登頂証明書をもらうには事前登録が必要なのでネットから申し込もうとしたら、ここはWiFiは

おろかテレビも映らない電波の僻地。急遽タブレットを取り出しやっとネットに繋いで、観光協会のHPからなんとか事前登録を行った。ヤレヤレ。



・現在 14 時。快晴で太陽がギンギンに照りつけているが気温は 20℃で風が強いので肌寒さを感じる。新冠はハイセイコーなど数多くの名馬を送りだしてきたサラブレッドの町、一面にサラブレッドの牧場が広がる。優秀な馬は広い囲いの中に 1 頭で飼育される。牧場群を一望できる「サラブレッドロード駐車公園」へ行って快晴の空の下でのんびり草を食んでいる馬たちをしばらく眺めた。奥の方に明日からアタックする幌尻岳を代表とする日高連峰が霞んで見える。



・道の駅に戻り、隣のセイコーマートで食料を買い揃え、明日からの幌尻岳登山の準備を万端整えた。前にも書いたが、ここはWiFiはもちろんテレビも映らない電波の僻地、やることは何もない。気温が低い上に風が強く寒いので車内で食事をして、明日の早朝出発に備え 18 時過ぎには早々に寝てしまった。右には大阪から一人で北海道に避暑に来ているという大阪の変な親父が、左にはさかんに山の準備をしている大分なんばーのおじさんが止まっている。